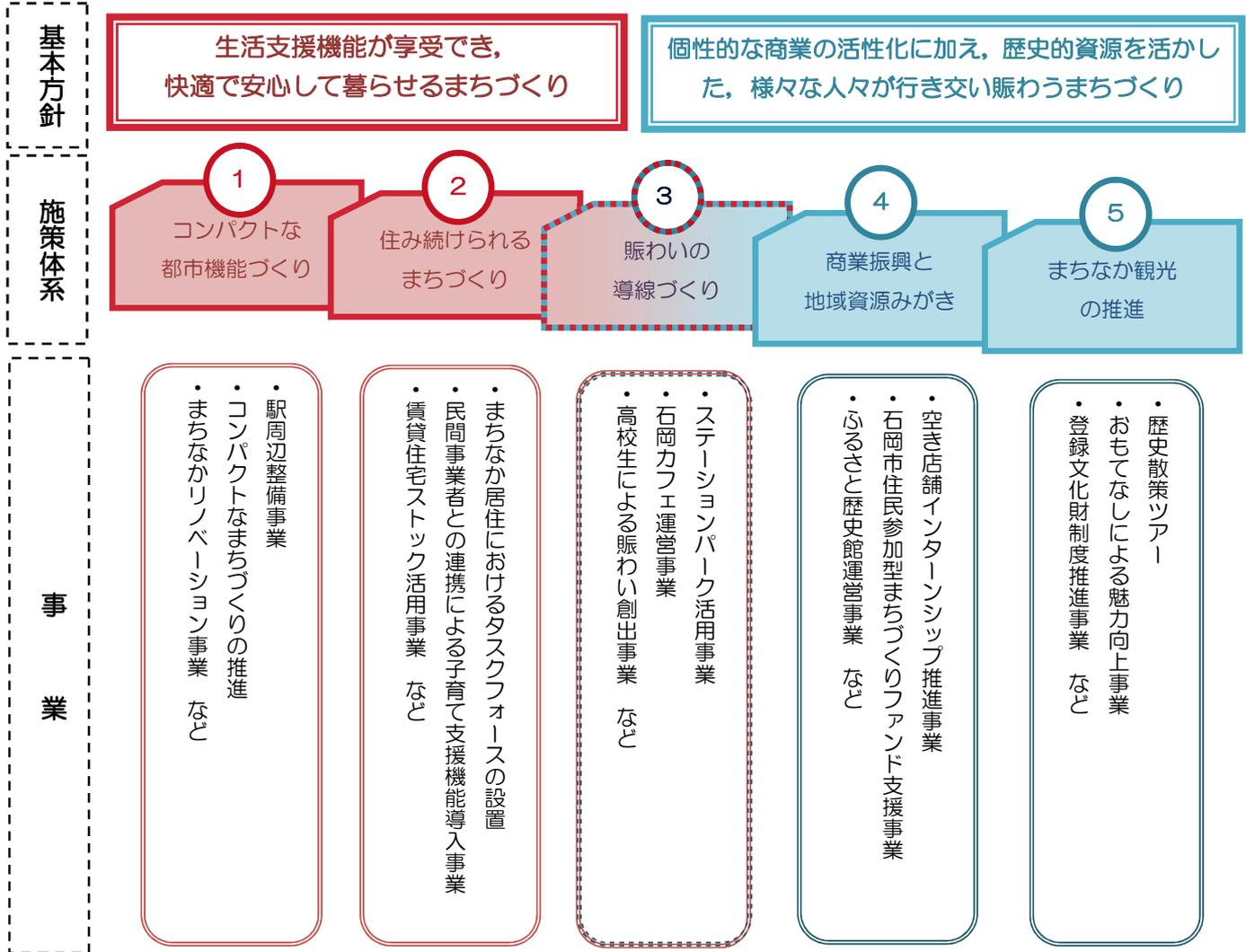


第4章 活性化戦略

中心市街地活性化の基本方針を実現するため、以下のように計画体系に事業を整理し、各施策が体系ごとに相乗的な効果をもたらすよう、5つの具体的戦略に基づき主要事業を展開していきます。

1 計画体系



【各施策体系の事業数】

施策体系	事業数	関連事業（複合的に行う事業）数
1. コンパクトな都市機能づくり	4	4
2. 住み続けられるまちづくり	8	2
3. 賑わいの導線づくり	9	10
4. 商業振興と地域資源みがき	13	16
5. まちなか観光の推進	12	3
総事業数		46

2 活性化戦略

(1) 景観整備による魅力創造

中心市街地における看板建築などの、全国的に見ても保存例の少ない希少な歴史的建造物は、市の景観的な財産とも言うことができ、昨今はメディア等でも取り上げられるなど、その注目度が高まっています。

そのような建造物を中心とした景観形成および機能向上を図るため、住民参加型の基金（石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業基金）を設置し、修景事業を支援することにより、魅力的なまちなみをつくとともに、交流の拠点となる機能の配置や交流を支援する関連事業を複合的に行っていくことにより、交流人口の増加等を目指します。

○登録文化財



○関連事業
登録文化財制度推進事業
ふるさと歴史館運営事業
石岡市中心市街地空き店舗
等活用支援事業

修景事業により
景観的な連続性のあるまちなみをつくる
(求心力を高めるとともに、リピートを増やす)

建築物所有者
民間事業者など

石岡市
住民参加型
まちづくり
ファンド
支援事業基金



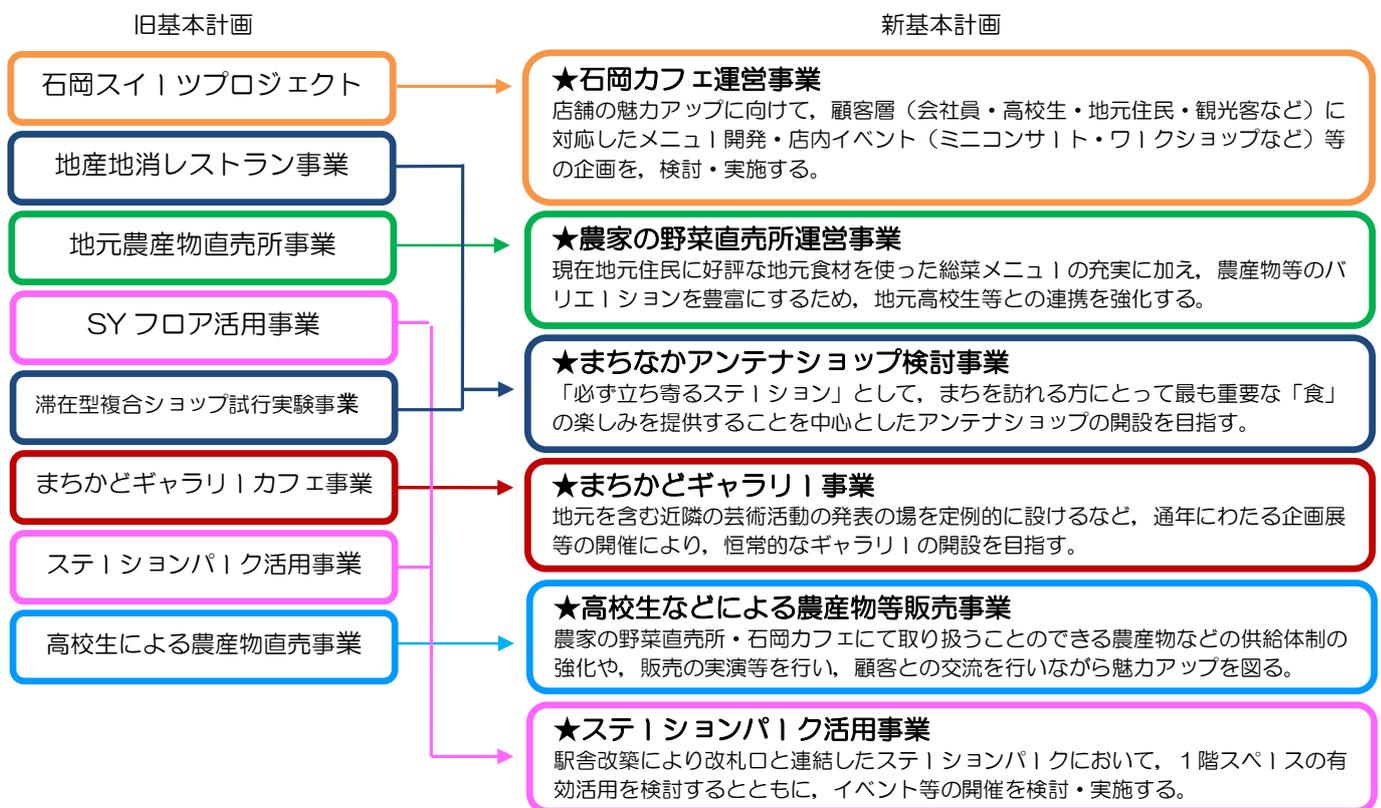
○修景により効果が見込まれる建築物群

(2) テナントミックス事業の強化による「賑わいの導線づくり」

テナントミックス事業は、中心市街地の賑わいを創出するため、各店舗やステーションパークとの連携を図りながら展開していく事業です。

旧基本計画における主要事業であったテナントミックス事業については、すでに実施中である「石岡スイーツプロジェクト」「農産物直売所事業」(「石岡カフェ」「農家の野菜直売所」の2店舗)があります。新計画については学生や地域おこし協力隊など外部からの知恵や力を取り入れながら、各店舗の運営体制を強化するほか、各事業を整理・リニューアルし取り組んでいき、まちなか回遊ルートの確立と、観光支援機能の役割を果たしていきます。

○テナントミックス事業の新旧計画における比較



農家の野菜直売所



石岡カフェ

(3) 「住み続けられるまち」を目指して

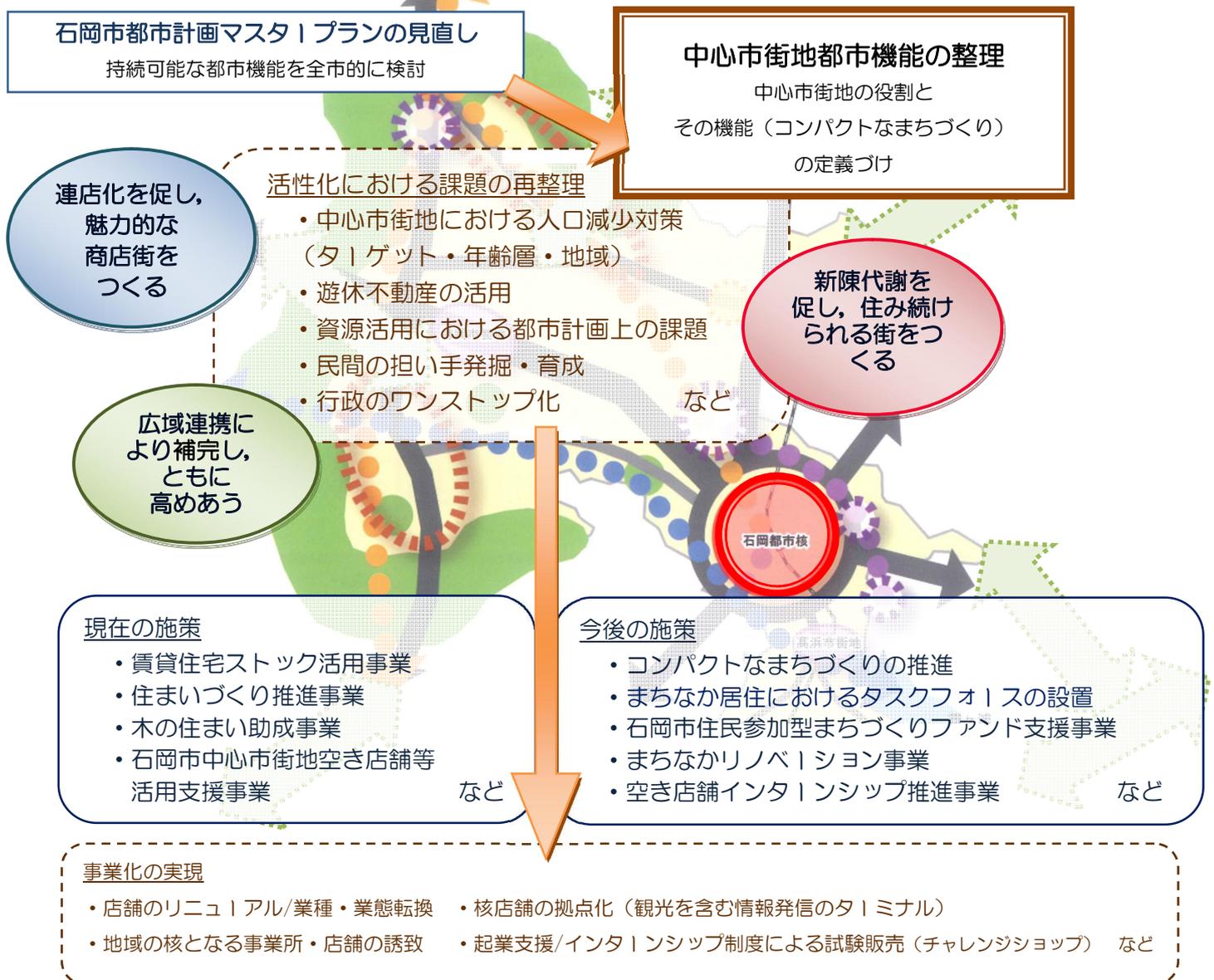
居住者人口の確保は、中心市街地のみならず市全域における大きな課題となっています。

そのような状況の中で、中心市街地は、市全域と比較し高齢者の割合も高くなっているだけでなく、建造物等も築年数が経過しており、新たに中心市街地に居住することが難しくなっている面があります。

一方、人口減少が続けば、市の財政も一層厳しくなり、市全域のインフラ維持等にかかるコストの確保はさらに重要な課題となります。

平成 27 年度より取り組んでいる石岡市都市計画マスタープランの見直しでは、中心市街地を含む市の都市機能の方向性として、コンパクトなまちづくりが検討されています。

そこで、市全体における中心市街地の役割を整理し、「住み続けられる」ための具体的な機能について検討するとともに、その実現に必要な商業振興・居住者支援施策に取り組んでいきます。



(4) 歴史・文化を活かした「まちなか観光」の推進

平成26年度に策定された石岡市観光振興計画においては、その基本方針として「地域の特性を活かした観光エリアの魅力アップ」が掲げられています。そのなかで、中心市街地においては「歴史・文化を活かしたまちなか観光の推進」施策に取り組んでいます。

新たな基本計画においては、観光振興計画との連携により、中心市街地における観光資源の確立や魅力アップに取り組むことで、来街者・交流人口の増加を目指し、「また来たくなるまち」として認知していただくための施策を実施します。

○主な「観光振興計画との連携」により取り組む事業

観光イメージの向上

滞在時間の長期化
まち歩きルートの確立
リピーター化
経済効果

史跡情報案内事業

- ・歴史の里お散歩博物館：目に留まっていない文化財等にもスポットを当て、観光資源を歴史時代背景ごとに整理した案内マップの作成、案内サイトの充実
- ・現存しない歴史資産のCG化・AR化：実際にまちを歩いてその場で見ると体感することのできる歴史資産の確立

ふるさと歴史館運営事業

- ・企画展等の実施：定例的に企画展を継続開催することで、施設自体のリピート率を上げる。
- ・まちあるきのタリミナル機能：市の文化財等に興味のある方が起点として立ち寄る施設に。

石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業

- ・修景事業の支援による魅力アップ：統一した景観づくり、まちの景観にあった店舗等の整備

まちなかアンテナショップ検討事業

- ・まちなかにおける「食」の充実：求心力の高い特産品メニューの開発・食べ歩きPR、お土産品等の提供を目指す。

歴史散策ツアー

- ・歴史時代背景ごとに系統立てたツアーの整理・作成
- ・歴史ボランティアによる案内

おもてなしによる魅力向上事業

- ・観光人材の育成
- ・おもてなしガイドブック
- ・ファンクラブ加入者への情報発信
- ・おもてなしマイスター制度
- ・市民向けおもてなし講座
- ・飲食店等の割引などによる特典

石岡駅西口市民文化伝承館活用事業

- ・獅子・山車等の展示
- ・展覧会・観光PR



ふるさと歴史館



おもてなしによる魅力向上

(5) 横断型プロジェクトチームによる事業推進

旧計画においては、事業推進を主体者に依存する傾向が見られ、市役所庁内はもちろん、中心市街地の住民・商業者、あるいは地域外の人々が関わり合いながら事業を進めることができなかった例があります。

本計画においては、特に中核となる事業主体を中心に横断型プロジェクトチームを発足させ、多様な意見を反映させながら事業を推進していきます。地域活性化に必要な外部からの視点・若者の視点・継続の視点などを持った多様な人材が積極的に関わり、ブラッシュアップを繰り返しながら、各事業の取り組みを広げていきます。合わせて、事業の認知度を高めるために、さまざまな手法による情報発信を複合的に行うことにより、中心市街地の求心力の向上を図ります。

○横断型プロジェクトチームのイメージ

